

平原ゾーンでサバンナシマウマの展示を開始します ～リスタート構想で計画していた平原ゾーンの整備は完了～

千葉市動物公園では、平原ゾーンの整備に伴い平成28年度のライオンの公開に始まり、これまでチーター、ハイエナ、ヤマアラシといった新しい動物を公開してきました。

このたび、同ゾーンでは最後の導入となるサバンナシマウマについて、6月2日（木）から展示を開始しますので、お知らせします。

なお、サバンナシマウマの展示をもって、リスタート構想で計画していた平原ゾーンの整備が完了しましたので、併せてお知らせします。

1 場所

平原ゾーン サバンナシマウマ展示場

2 日時

令和4年6月2日（木）9：30

3 頭数

3頭

4 個体名

パール（メス 5歳）

フジ（オス パールの子 0歳）

ルビー（メス 3歳）

5 来園

令和4年1月26日 富士サファリパークから
来園（パールとルビー）

※フジは当園で繁殖

6 展示場

展示場については補助柵を設置し、展示場の一部を使った公開となります。

7 その他

当面はパールとフジの親子を展示します。
ルビーは状況を見ながら公開する予定です



平原ゾーン サバンナシマウマ展示



写真左 フジ 右 パール



ルビー

《参考》

1 サバンナシマウマについて

(1) 保護状況

レッドリスト LC (低危険種)

(2) 特徴

体長 200～240cm、尾長 45～60cm、体重 230～270 kg、体高 110～130cm、シマウマの仲間には、ヤマシマウマ、グレビーシマウマ、サバンナシマウマの3種がいます。グラントシマウマはサバンナシマウマの1亜種で、シマウマの中では1番小柄で黒い縞模様が太く、縞の数も少ないです。シマウマはウマより、ロバに近い動物です。

日本の動物園で飼育されているシマウマはほとんどがこの種です。

(3) 生態

アフリカのサバンナで、雄と複数の雌、その子どもからなる家族単位の群れで生活し、時には群れ同士が集まり大きな集団になることもあります。イネ科などの草や木の芽を好んで食べます。

(4) 分布

ケニア等、アフリカ東部から南部の草原、サバンナ地帯

(5) 飼育頭数

ア 千葉県動物公園 3頭

イ 国内飼育頭数(20園館) 雄52頭、雌71頭、不明2頭 計125頭

※日本動物園水族館協会資料(令和3年3月23日現在)

2 平原ゾーンの整備について

平成27年4月～平成28年3月	ライオン展示場整備
平成28年4月	ライオン展示開始
平成30年4月～令和2年5月	チーター展示場、ハイエナ展示場整備
令和2年7月	チーター、ハイエナ展示開始
令和2年4月～令和3年3月	シマウマ展示場、ヤマアラシ展示場整備
令和3年5月	ヤマアラシ展示開始
令和4年6月	サバンナシマウマ展示開始